

様式第5号（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地 番)	袋井市東同笠字笠野1396番、1397番、1399番1、1394番の一部	地 目	山林	面 積	960m ²
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中	土木	②、⑦	樹木伐根による掘削した土や仮置きした堆積土砂等が雨天時に流出し、近隣の畑に雨水と一緒に流れる可能性がある。		仮置土、樹木伐採は隣地に影響が少ない場所に置く。		
工事中・ 工事後	伐採	④、⑦	伐採により水源涵養機能が低下する為、地下水の減少、豪雨時の土砂流出量の増大、植生等の変化が生じる可能性がある。		隣地への影響が少ないように配慮する。		

(注) 1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。